

ふるさと豊間だより

2014年 2月号

ふるさと豊間復興協議会

〒970-0224

住所：いわき市平豊間字榎町73-1

TEL・FAX 0246-98-6100

E-mail: toyoma-fukkou@sweet.ocn.ne.jp

http://furusato-toyoma.jp

状況（一月三十一日撮影）

災害公営住宅豊間団地の建設



6号棟

いわき市災害公営住宅申込受付結果 1,512戸に対して1,396件の申込

豊間区の住民で豊間団地を希望する人は、ほぼ100%近く入居できる見通しです！！

みんなでグループ申し込みを推進し、調整を進めた結果、豊間団地は、募集戸数と申込数がちょうどバランスしています。この結果、2LDKに該当する1~2人世帯の方が、3LDKでも構わないとした場合、また、戸建て住宅希望の方が集合でも構わないとした場合には、ほぼ、100%近くの方が、豊間団地に入居できる見通しとなりました。

集合/ 戸建	種別	募集 戸数	第1 希望数	差
集合	一般	138	132	6
	ペット	30	31	-1
戸建	一般	24	27	-3
計		192	190	2

内定世帯対象 災害公営住宅 団地町会づくりワークショップ のご案内

「住戸交換方法の確認と団地町会づくり」 豊間公民館 ※次のいずれかにご参加ください

① 回目 2月22日（土） 13:30~15:30

② 回目 17:00~19:00

③ 回目 2月23日（日） 10:30~12:30

④ 回目 14:00~16:00

◆ 先進団地視察研修のご案内 3月1日（土） 7:30~18:30 ※大型バス利用

◎団地自治会の活動事例

尾山台団地（埼玉県上尾市）

◎ペット共生住宅の事例

松が丘団地（埼玉県鶴ヶ島市）

※参加希望の方は協議会事務局にお申し出ください。（30名程度、参加費無料）

産業再生・交流拠点ゾーン形成 ワークショップ

第1回 「かーちゃんの力を発揮する」 講演:福島大学 塩谷 弘康教授

1月18日(土) 13:30~15:30 豊間公民館

◆住民の参加者 婦人会メンバーなど女性15名

◆講演内容 飯館村など避難を余儀なくされる女性が、福島駅前の店舗で特産品販売やレストラン営業を行う、かーちゃんのカプロジェクトが紹介されました。

◆主な意見 ・メンバーそれぞれの経験を活かすことで、もてなしが出来る。

◇豊間の加工のワザ(調理技術)・豊間の味の良さはみんな知っている。

◇新鮮で質の良い素材を入手→豊間の加工技術を使う→販売(発信)

○豊間ブランドをつくる。 ○単身者、小家族、高齢者向けに売る。

○災害公営住宅に配達。 ○当番制で、交代で負担を少なく。

- 秋:秋刀魚料理 10種類は出来る。卵の花づけ、みりん干し、佃煮、ぼうぼう焼き 2枚300円 めひかりの唐揚げ 1パック300円
- 冬~春:漬け物各種200円、豆餅2個300円、松前漬、酢大根、ひじき他に、わかめ料理:茎料理、味噌漬け、炒め物、キンピラ、オカラ料理
- ウニご飯、カニご飯、焼そば1パック300円、テングサからところてん



第2回 「ひとりひとりが特産品づくりに参加する」 講演:福島大学 塩谷 弘康教授

1月18日(土) 17:00~19:00 豊間公民館

◆住民の参加者 12名

◆講演内容 特産品づくりは、「地域づくり」「人づくり」との話がありました。

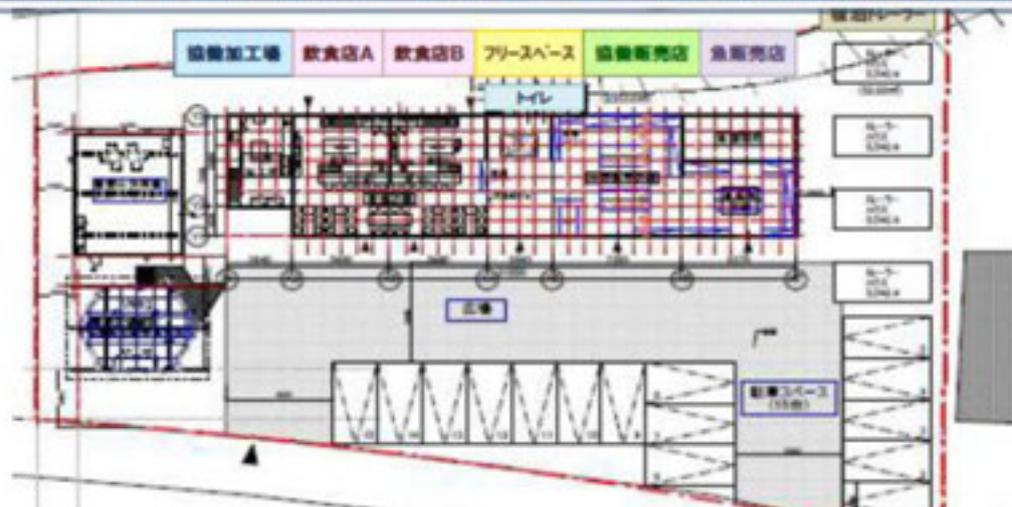
◆主な意見 特産物が地域の価値を上げる。地域の協力連携が必要。

- 素材は外からでも「加工の技術」で売る。塩屋崎かまぼこをブランドに。
- 家庭の味、地元の味で勝負ができる。(さんまの加工品、漬物など)
- 仮設店舗を活用して、実証実験を進める。



「仮設店舗準備会」による店舗構成案の検討

仮設店舗準備会は、9月22日に設立し、年末まで7回の検討会議を行って、次のような店舗の構成をイメージをしています。新年度の補助内容を待って夏頃の開設を目指す予定としています。



◆東京・豊間支援グループ

ワークショップの話し合いを支援してくれた専門家の方々

高見澤 邦郎(東京都立大学名誉教授)、山本 忠(NPO美しい街住まい倶楽部理事)、
佐藤 俊一(NPO美しい街住まい倶楽部理事長)、古里 実(埼玉県副部長)、松本 暢子(大妻女子大学教授)、
連 健夫(建築事務所代表)、梶川 義美(日本立地センター部長)、小川 美由紀(八王子市都市政策研究所)

復興庁「新しい東北」 先導モデル事業の 実施状況報告

約460件の応募のうち、豊間も含めて66件が選定されました。

◎提案名；600戸のコミュニティと産業の再生；家業から地域協働産業へ、観光産業の
価値共創ビジネス 6次産業化

◎実施主体；ふるさと豊間復興協議会・NPO法人美しい街住まい倶楽部

仮設店舗・道の駅の視察研修

第1回「宮城県内の仮設店舗・道の駅の視察」 11月17日（日）～18日（月）

◆住民の参加者 28名、東京支援グループ等2名

◆11月17日 <仮設店舗>；塩釜石巻市「まちなか復興マルシェ」、石巻漁港「市場関連施設」
<道の駅>；石巻市「上品の郷」

◆11月18日 <仮設店舗>；南三陸町「さんさん商店街」、女川町「宿泊トレーハウス；エルファロ」
「マリナル女川おさかな市場」
<道の駅>；大崎市「あ・ら・伊達道の駅」

・南三陸の仮設商店「さんさん商店街」は多様な業種30店が協力して運営。特に飲食や海産物の販売に力が入っていて、地元だけでなく、多くの観光客も集めているとのことでした。

・道の駅の2つの施設は集客数、売り上げとも全国有数のところでした。町村合併の前に危機感から設置されたもので、地域の振興、雇用、住民の交流の場として、大いに貢献しているようです。



上品の郷 駅長からの説明



南三陸町 さんさん商店街



トレーハウス エルファロ 理事長からの説明

第2回「福島県内の道の駅2ヶ所視察」 1月26日（日）

◆住民の参加者 32名、福島県職員2名、福島大学1名、東京支援グループ2名

◆二本松市東和町 <ふくしま東和；あぶくま館>

◆石川郡古殿町 <ふるどのおふくろの駅>

・いずれの道の駅も、農水省の補助で建設した施設を、道の駅として登録したもので、登録には相当の困難があったとのことでした。

・いずれも山間部の人口や観光客の少ないところで、運営は厳しいようですが、特産品づくりに力を入れるなど、地域の振興や協働体制作り大いに貢献しているとのことでした。



ふくしま東和 直売所・食堂など



ふくしま東和 調理加工実習室



ふるどのおふくろの駅 直売所・食堂

お知らせ ご報告

東日本大震災豊間区物故者追悼式典

主催：豊間区

とき：3月11日(火) 午後2時 開場

ところ：しらた斎場塩屋崎

井戸の御祓い

1月25日(土)午前11時から豊間諏訪神社にて、区画整理事業区域内にある井戸の御祓い神事を執り行いました。

区長・区役員・神社総代ならびに井戸保有者100人、工事施工業者が参列いたしました。



寄付金の贈呈、ありがとうございます

南白土いきいきサロン様(左)・常磐共同ガス様(中央)箱崎幸子様(右)の皆様から、さくら基金や協議会・婦人会の活動支援金として、浄財のご寄付を受けました。

2月のサポートセンターの日程

健康相談

17日(月)
10:00~11:30

生活再建等の個別相談

9日(日) 15日(土)
16日(日) 25日(火)
10:00~15:00